

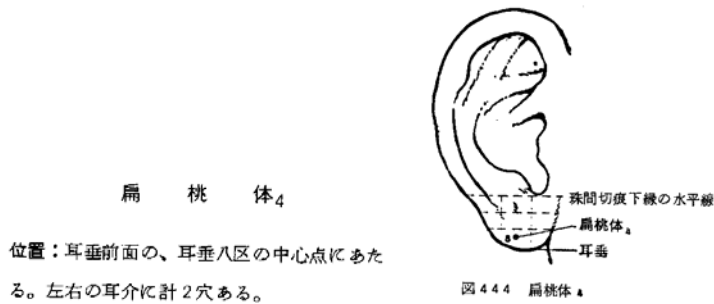
## 長野式臨床研究会

平成20年 第10期 マスタークラス 大阪セミナーQ&A  
第2回20年3月23日 テーマ「婦人科疾患」 講師 長野康司

## 婦人科疾患 治療上の注意点、まとめ

- \*今回セミナーは、「月経異常」と「更年期障害」に分けられているが、それぞれ処置法は異なる。
- \*婦人科疾患の月経異常の多くは「視床下部」(85%)の影響をうけて発症する。他に「下垂体」「卵巣」「子宮」による場合もある。
- \*婦人科疾患の基本処置
  - ・無月経 ～「三陰交、内関」及び「次髎」
  - ・不正出血～主に脾経を使う、「太白、血海、衝門、尺沢、経渠」
  - ・更年期 ～主に腎経を使う、「照海、兪府」
  - ・子宮筋腫には「曲泉」に31壮の多壯灸
- \*婦人科疾患の使い分け（目安として）
  - 1) まず 「脾経」～「太白、三陰交、血海、衝門」等
  - 2) 次に 「腎経」～「照海、兪府、自律神経調整処置」等
  - 3) 最後に「肝経」～「蠡溝、曲泉」等
- \*「命門」、「陽関」の圧痛は、「副腎系」の異常を考える。
- \*「臏中」に軽圧で圧痛ある場合、心臓性疾患を疑う、同時に「労宮」にも圧痛が出る。「臏中」にやや強圧で圧痛がある場合、食道性（消化器系）疾患を疑う。
- \*脾は、血の動静に関与する。  
肝は、生殖器系に関与する。
- \*子宮は、内側に「内膜」  
中層に「筋膜」（子宮筋腫はここにできる）  
外側に「外膜」（漿膜）
- \*婦人科疾患は、下垂（前浮後沈）を起こす可能性が多々ある。  
体位別の下垂処置（血流を改善して、腹圧を上げる）
  - ・側臥位の下垂処置「京門、関元兪、大腸兪」（膀胱経、胆経）
  - ・仰臥位の下垂処置「伏兔、風市、気戸」（胃経）
  - ・腹臥位の下垂処置「次髎、中髎」（膀胱経）

＊耳垂扁桃点「扁桃体 4」（症例 10、三十年の軌跡 P263 「更年期障害による全身倦怠感」）  
皮内鍼は 3 mm 保定



引用：《＊耳針療法＊針灸経外奇穴図譜》

＊骨盤内うっ血症の反応点

1) 腸骨窩部、2) 肩井、3) 陰陵泉に強度の圧痛

＊骨盤うっ血処置のモデル

症例 12、三十年の軌跡 P267 「更年期障害による骨盤うっ血症」

医学書には「骨盤内うっ血症候群」、心因性のもので出ているが、手立ては薄い。むしろ東洋医学の方が専門分野となる場合が多い。

＊刺鍼は鍼先が大事、“鍼先に意識をおいて”雀啄をする。

“どの位入っているか”、“何処をほぐしていくのか” “何処の流れを良くしていくのか”  
考えながら丁寧に雀啄をしていく、機械的にやっては変わってきません。  
意識をおいて雀啄すると、雀啄の振動で気の巡りが出て、流れが変わってくる。

＊鍼が初めての人や、馴れてない人には、雀啄は短めに。

慢性症や、慣れている人には長くてもよい。

## 質問

質問 01 「三陰交」の灸頭鍼のこつは？

両側の三陰交に、寸 3 4 番鍼（灸頭鍼用の鍼）で、仰臥位、垂直に少し深めに  
刺入、「灸頭鍼用切りもぐさ」等の形のできているもぐさを使う。

質問 02 一過性の痺れに「陽補、外関」を使っても良いでしょうか？

末梢性の痺れには「陽補、外関」が良く効きます。  
中枢性の痺れには、脳循環に直接効くような「横V字椎間刺鍼」の方が良いで  
しょう。

質問 03 症例 5、三十年の軌跡 P249 の「月経不順」の治療で、「通谷」への施灸とありま  
すが、通谷を使用する意味は？

「通谷」は、膀胱経の水穴にあたり、副腎皮質ホルモンの分泌を補う働きがある  
ので、経験則から「照海、兪府」とセットで使っている。

**質問 04** 「強心処置」の「三陰交、陰陵泉、労宮」で、「労宮」に刺鍼するコツは？

手掌を、ピンと張らないように卵を持つように緩めて、よく柔捻して、寸3の2番鍼、又は1寸0番鍼で、5～10ミリ位刺入しないと効果が薄い。

**質問 05** 「強心処置」の「百会」のへの刺鍼は？

寸3 2番鍼で、やや前方へ向け雀啄後留鍼。

**質問 06** 婦人科疾患もそうですが、花粉症等、治療に時間がかかる場合、「何回位の治療が必要」と言えばよいのでしょうか？また、続けてきていただく為には？

花粉症の人には8～9割くらい効果があります。1～2回やって効果をださないと来てくれません。

何回とははっきり言えません。というのは、その患者の体質や症状の長さによって違って来るからです。

通常は、花粉症の症状の出る期間（2月～3月頃）は来てもらった方が良いでしょう。その間、仕事が出来ない人でも、治療で症状をかなり抑えこんで仕事出来る訳です。効いたのが実感できれば来てくれます。

来て貰うためには「扁桃処置」「アレルギー処置」と「内ネーブル」に皮内鍼を必ずやっていきます。皮内鍼は、週1回のテープの貼り替えが必要です。結果を出せば来てくれます。

**質問 07** 花粉症の薬を飲んでいる人もいますが、やめたほうがいいのでしょうか？

やめる人もいるし、併用している人もいます。強制しなくても良いでしょう。

**質問 08** 月経前症候群等の精神的な疾患にも効果がありますか？

効果はあります。

視床下部、下垂体、卵巣、子宮に関係している。特に視床下部、つまり中枢に参与する自律神経調整処置を中心に、所見に基づいて処置を組立てます。

**質問 09** 花粉症で、目や鼻がグズグズして熱っぽい人が多いですが、補法と瀉法では、どちらの治療と考えれば良いでしょうか？

眼の血流を良くすることを目的としますので、補法でやります。

**質問 10** 逆流性食道炎の治療は、「胃の気3点処置」で良いのでしょうか？

胃酸過多（胃実）なので、「胃の気3点」は使いません。

この場合「解谿」に圧痛が出ていることが多いので、「気水穴処置」をやっていきます。